

第 3 回光化学オキシダント健康影響評価検討会における主な指摘事項と対応

<第 3 回検討会資料 1 - 1 光化学オキシダントの化学組成、生成機構について>

	委員からのご指摘	事務局からの回答
1	1 ページ 15 行目の「また、光化学オキシダントの大部分はオゾンである」は 9 行目と同じことではないか。(大森委員)	ご指摘踏まえ削除する。

<第 3 回検討会資料 1 - 2 光化学オキシダントの大気環境中濃度について>

	委員からのご指摘	事務局からの回答
1	資料 1 - 2 と別添「令和 2 年度 大気汚染物質（有害大気汚染物質等を除く）に係る常時監視測定結果」を分けた理由は何か。資料 1 - 2 の中にも環境基準の達成状況の情報が入っていた方が良いように思う。(大森委員)	ご指摘を踏まえ環境基準の達成状況の情報を追記する。

<第 3 回検討会資料 1 - 3 光化学オキシダントの体内動態について>

	委員からの質疑	事務局からの回答
1	気道上皮被覆液を ELF: extracellular lining fluid としている。原文をそのまま記載されていると思うが、気道上皮被覆液は epithelial lining fluid を用いることが多い。(古山委員)	ご指摘踏まえ修正する。

<第3回検討会資料2 光化学オキシダントの短期曝露による呼吸器影響に関する定量評価に資する信頼できる疫学研究知見のとりまとめ結果（案）概要版>

	委員からの質疑	事務局からの回答
1	呼吸器症状について、海外を対象とした文献が概要版や詳細版に掲載されていないが、掲載してはどうか。（道川委員）	「2.3 呼吸器症状」として新たに追加した。（第4回検討会資料1別添1）
2	リスク値をまとめた図は視覚的にわかりやすいが、個々の研究の曝露濃度（範囲）についても示したほうが適切であると思われる。各研究の曝露濃度（範囲）も示されている方が、後で議論しやすいと思われるので追記してほしい。（大森委員、古山委員）	各図内のグラフ左側に示した表に濃度範囲（単位はppbに換算）を記載した。（第4回検討会資料1別添1）
3	図9のKarakatsani <i>et al.</i> (2017)について95%信頼区間が左右対称ではないように見えるが、間違いはないか。オッズ比やハザード比であれば非対称も考えられるが、その場合には推定値から下限の長さより推定値から上限の長さの方が長くなるべき。Karakatsani <i>et al.</i> (2017)は逆に見える。（大森委員）	原著論文を確認した結果、数値に間違いはなかった。
4	表3のKagawa <i>et al.</i> (1980)で、「Oxとの編回帰係数がみられた。」との表現は変であるため修正すること。（大森委員）	ご指摘を踏まえ修正した。（第4回検討会資料1別添1）
5	表4のYoda <i>et al.</i> (2017)に「有意であった。」とあるが、不要だと思われる。（大森委員）	ご指摘を踏まえ修正した。（第4回検討会資料1別添1）
委員指摘箇所以外の加筆修正事項		
1	研究の概要を示した表に、国内研究については「調整因子」、海外研究については「調整因子」「結果」の列を追記した。（第4回検討会資料1別添1）	
2	その他表現や体裁の修正、単語の統一を行った。（第4回検討会資料1別添1）	

<第3回検討会資料3 光化学オキシダントの短期曝露による呼吸器影響に関する定量評価に資する信頼できる人志願者実験知見のとりまとめ結果（案）概要版>

	委員からの質疑	事務局からの回答
1	表1～表9に整理したFEV ₁ やFVCの低下率について、95%信頼区間と合わせてグラフに示した方が今後議論しやすいのではないかと（大森委員）	ご指摘を踏まえ、図1～図7を作成した。また95%信頼区間について、推計が必要であったものについては点線で示し、その計算方法は参考資料3に示した。（第4回検討会資料1別添2）
2	喘息患者を対象とした研究について喘息のコントロール状況の記述がない文献が多いが、これらは、原著論文に記述がなかったのか。（島委員）	原著論文を確認し、概要には原著論文における喘息患者のコントロール状況（喘息治療薬の使用状況）に関する記載の有無を、抄録集には原著論文に記載されていた具体的な喘息治療薬等について記載する方針とした。また、喘息患者の重症度についても確認の上、追記した。（第4回検討会資料1別添2）
3	抄録集、概要一覧について、「有意な」、「有意性」、「有意差」等の用語を用いているが、結果が「有意」かどうかではなく、影響の大きさ（数値）から意義のある健康影響なのかどうかを議論することが望ましい。したがって、影響の大きさが記載されているならば、「有意な」等の用語を用いずに、その値を記載した方がよい。それがなくp値のみが記載されている場合にはp<0.05等ではなく、具体的なp値を記載した方がよい。（大森委員、佐藤委員）	ご指摘を踏まえ、抄録集、概要一覧を修正する。なお、影響の大きさ（数値）については、必要な影響についてのみ整理する方針とする。
4	「3.3. 間欠運動条件下での6～8時間の曝露」について、Brown <i>et al.</i> (2008)の解析方法を具体的に記載しているが、Brown <i>et al.</i> (2008)がAdam (2006a)と異なる解析方法を用いたことを報告していることと、「0.06ppm O ₃ 曝露の前後の変化率からろ過空気～- 2.85% ± 0.78%」が明示できればよい。（大森委員）	ご指摘を踏まえ修正した。（第4回検討会資料1別添2）

5	「3.4.3 喘息患者への影響」第1段落について、被験者が喘息患者か否かがわかりにくいため追記してほしい。(山野委員)	ご指摘を踏まえ修正した。(第4回検討会資料1別添2)
6	「5. 炎症反応・肺の生体防御反応への影響に関する知見の整理結果」の最終段落について、「疫学研究」との関係がわかりにくいため、記載を検討していただきたい。(大森委員)	ご指摘を踏まえ修正した。(第4回検討会資料1別添2)
7	「6.1.2.気道反応性への反復曝露の影響」の Folinsbee <i>et al.</i> (1994)について、「改善する傾向」とあるがわかりにくいため、記載を検討いただきたい。(大森委員)	ご指摘を踏まえ修正した。(第4回検討会資料1別添2)
委員指摘箇所以外の加筆修正事項		
1	その他表現や数値、体裁の修正等を行った。(第4回検討会資料1別添2)	